



組合

## “再雇用策は解決に繋がっていない。認識は同じか？”

社長

## “同じ認識だ。何かないか、と今必死に考えている”

～組合は何度でも言う！解雇問題の全面解決には金銭支払いが不可欠～

経営協議会報告【解雇問題】2019. 4. 24

《 “再雇用を問題解決に繋げる” は実現せず、解決に向かっていない》

【組合】 整理解雇の問題について、組合は 2 月の第 9 回、今月第 10 回の特別協議の中で再雇用だけでは問題の全面的解決につながらない、もはや金銭によって争議を解決するしかない段階になったという認識で金銭の具体的検討を求めた。この検討結果について社長のお答えを求めます。

《赤坂社長》 これまで申し上げた通り、金銭による解決はないと考えている。

【組合】 会社は「再雇用で頑張る」言っていたが、再雇用はうまく行ってない。その認識は同じか？

《社長》 必ずしも満足に行っていないということと同じ認識だ。

【組合】 そういう認識であれば結果が出ていない事実に向けるべきだ。経営として問題を解決に踏み出すと社会に対して公言し再雇用という方法を打ち出した。しかし結果に繋がっていない。次にどうするか、を考えるとという事ではないか。解決を諦めた訳ではないですね？

《社長》 (うなずく)

【組合】 では、具体的に解決に向かって、次に検討していることは何か？

《社長》 今それを考えて悩んでいる段階だ。何かあるのではないかと必死に考えている。

【組合】 昨年株主総会での社長が内容を考えれば、当然、今年の株主総会でどうなったんだ？と株主から質問が出ると思うが、どの様に答えるつもりなのか。

《社長》 これから考えます。

【組合】 非常に残念です。経営破綻以降職場全体の雰囲気はどれだけ、息苦しくなったか、風通しが悪くなっているか理解されているか。その根底に整理解雇をはじめとした人員削減策を行った時の職場の混乱がある、これが大きな要因だと組合は考えている。利益が出ているという表面的な数字に基づいて素晴らしい会社になったと過剰に思い込んではいないか。これまで会社は金銭を払う合理性が必要と言ってきたが、解雇問題を解決するという以上合理的目的はないはずだ。

《会社》・・・。

【組合】 “解雇者にだけに金銭の支払いは出来ない、他の債務者もいる” という説明も何度も受けてきたが、8年の時が経ち手続きやハレーションにとらわれ過ぎではないか？

速やかに労使紛争を解決し対外的にも胸を張って進んでいく、今こそこれまでの労使対立を乗り越えて、解雇問題の抜本的解決を行うべきだ。いつまでこの問題を引きずっていかうと考えているのか？

《社長》前からお伝えしているように出来る

だけ早く解決したい。この思いは変わらない。

【組合】何か解決策と言われたが、具体的に何か候補に挙がっている解決策はあるか？  
《赤坂社長》今ここで申しあげられるものはない。

《解雇問題を解決するのは、社内の風通しを良くするとの決断をした今を持って他にない》

【組合】8年以上続いてきた解雇問題を解決するのは、会社が、様々な問題で損なった社会的信頼を取り戻し、社内の風通しを良くするとの決断をした今を持って他にない。決断の先送りをせず判断してほしい。組合も一年前の社長発言の状況に戻ることは望んでいない。

【組合】私は解雇されるまで35年間、運航の現場で飛び続けてきた。飛ぶこと自体が私の人生そのものであり、操縦桿を握ること以外何も出来ない男です。その男から操縦桿を奪い取るという事が、どれほど残忍で残酷な事であるという事か、技術畑を歩んできた社長には判るはずだ。

《社長》はい、判ります。

【組合】組合は8年間色々な形で解決策を示し交渉に臨んで来た。その間、被解雇者とその家族は解決交渉を固唾をのんで見守ってきた。しかし実質的な解決に向けた交渉は、特別協議も含めて、行われていない。

今、被解雇者とその家族は、未だに寒風吹きすさぶ荒野で中に捨て置かれている状態だ。

《会社》・・・・・・・・。

【組合】原因は、破綻そのものも含め全て会社にある。そしてこの状況を解決できるのは会社だけであるというのが重要なポイントだ。会社にもいろいろな困難があるだろう、組合にもある。それはお互いに協力し、それを持ち合って具体的な解決に結びつく論議をする、株主総会には晴れ晴れとした気持ちで、解決への答えを出せるように、経営の中で早急に検討してもらいたい。

《会社》・・・・・・・・。

【組合】互いに主張はあるが、組合は解決に向かうのであれば過去の経緯にはこだわらない、ぜひ再度経営の中で具体的に検討してもらいたい。

《社長》(うなづく)